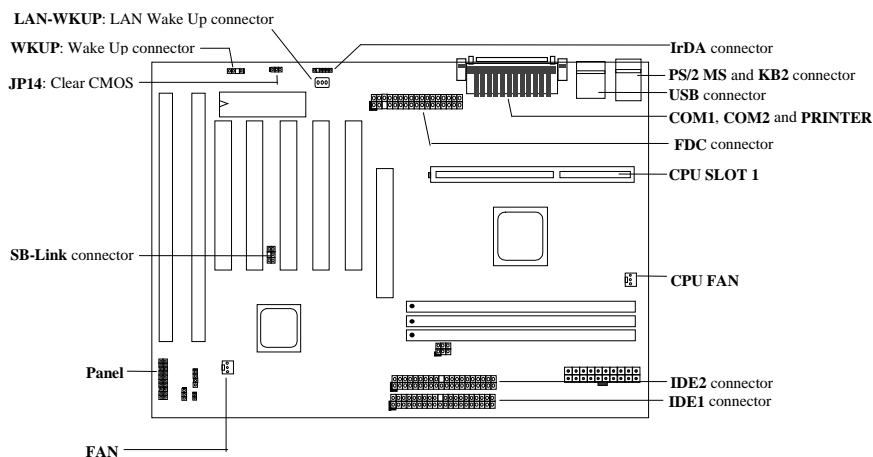


クイックインストールガイド

AOpen's AX6BC マザーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当ガイドは、マザーボードのシステムへのインストール方法を説明します。以下の図は、マザーボード上のジャンパー及びコネクタの位置を表します。:



AX6BCは、次のような特殊機能を提供します。

ジャンパなしのデザイン Pentium II VID信号およびSmbusクロックジェネレーターは、CPU電圧の自動判断を提供し、ジャンパやスイッチを使わずにCMOSセットアップを使ったCPU周波数のセットを可能にします。

バッテリーなしのマザーボード AX6B Plusは、EEPROMおよび特殊回路(特許申請)を装備しているので、現在のCPUおよびCMOSセットアップ情報をバッテリーを使わずに保管することができます。リアルタイムクロックも、電源コードが接続されている限り、正確な時刻を保持します。

ハードディスクへのサスペンド この機能を使って、情報をハードディスクに保管し、短時間でもとの状態に戻ることができます。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ ATX電源ON/OFFを使って、システムの電源を完全にOFFにして、留守電またはファックスの送受信などの電話呼び出しに自動的に応答することができます。

RTCウェイクアップタイマ システムを標準モードに戻す日付/時刻をセットすることができます。

オーバー電流保護 回路のショートを防ぐCPUオーバー電流保護です。

CPU高温保護 CPUの温度が定められた温度よりも高くなると警告します。

CPU熱保護 CPU温度がプリセットされた値より高いときに警告します。

ファン管理 ファンコネクタは2つあり、CPUまたはシステムケースファンのトラブルを警告します。

システム電圧管理 システムの動作電圧を継続して管理します。

スイッチングレギュレーター 将来のCPU用の効果的なスイッチングレギュレーターです。

Sound Blasterリンク Creative互換のPCIサウンドカードを取り付けたら、DOS環境での互換性のため、カードをこのコネクタにリンクする必要があります。



このクイックガイドは、クイックリファレンス用です。詳しい説明は、ユーザーズガイドを参照してください。

CPUコア電圧の設定

このマザーボードは、Pentium II VID機能をサポートしており、CPUコア電圧は自動的に判断されます。範囲は、1.3Vから3.5Vです。

クイックインストールガイド

CPU周波数の設定

CPU周波数は:

BOIS Setup à Chipset Features Setup à CPU Clock Frequency

(有効な設定は66、68.5、75、83.3、100、103、112、133.3MHzです。)

BOIS Setup à Chipset Features Setup à CPU Clock Ratio

(有効な設定は1.5x、2x、2.5x、3x、3.5x、4x、4.5x、5x、5.5x、6x、6.5x、7x、7.5x、8xです。)

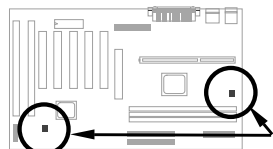
コア周波数 = 比率 * 外部バスクロック

INTEL Pentium II	CPU コア周波数	比率	外部バスクロック
Pentium II 233	233MHz =	3.5x	66MHz
Pentium II 266	266MHz =	4x	66MHz
Pentium II 300	300MHz =	4.5x	66MHz
Pentium II 333	333MHz =	5x	66MHz
Pentium II 350	350MHz =	3.5x	100MHz
Pentium II 400	400MHz =	4x	100MHz
Pentium II 450	450MHz =	4.5x	100MHz
Celeron 266	266MHz=	4x	66MHz
Celeron 300	300MHz=	4.5x	66MHz
Mendocino 300	300MHz=	4.5x	66MHz
Mendocino 333	333MHz=	5x	66MHz

<Home>キーを使ってCPU周波数設定を解除する

システムが停止または起動に失敗した場合は、<Home>キーを押してデフォルト設定(233MHz)を再保管することができます。このスマートデザインにより、より簡単にCPU周波数をクリアすることができます。この機能を利用するには、<Home>キーを押しながら電源ボタンを押してください。POST画面が表示されるまで、<Home>キーを押し続けてください。

CPUファンの接続

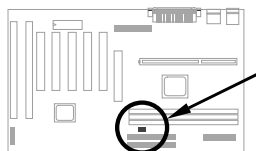


ファンケーブルを3ピンCPUFANまたはFANファンコネクタに接続してください。両方のファンコネクタともハードウェア管理機能をサポートしていますが、ファン電源のON/OFF管理を制御するために使用できるのはCPU FANコネクタだけです。

バッテリーレスマザーボード

AOpen AX6BCは、環境保護のために開発された世界初のバッテリーなしのマザーボードです。ATX電源コードが接続されている限り、リアルタイムクロックおよびCMOSセットアップ用バッテリーは必要ありません。AC電源がシャットダウンしたり誤って電源コードを引き抜いてしまったりした場合、CMOSセットアップおよびシステム設定をEEPROMから再ロードすることができます。システムクロックだけを正確な日付と時刻にセットし直してください。

AGPターボ

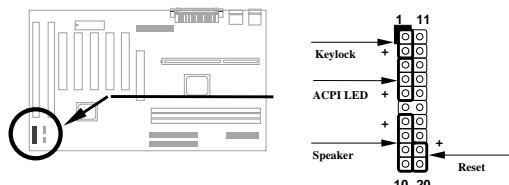


AX6BC は、AGPがCPU100MHz (またはそれ以上)外部周波数を同期してシステムパフォーマンスを改善できるように、このジャンパを装備しています。オーバークロッキングを防ぐため、より良いAGPカードを使用することをお勧めします。AGPカードによっては、100MHz以上のバス周波数をサポートせず、オーバークロッキングの原因となることがあります。

クイックインストールガイド

フロントパネルケーブルに接続

電源LED、キーロック、スピーカーおよびリセットスイッチコネクタをそれぞれ対応するピンに取り付けてください。



BIOS設定の初期値を呼び出す

POST(パワーオンセルフテスト)の最中に **[DEL]** キーを押して、BIOSセットアップにアクセスすることができます。最適なパフォーマンス用には“Load Setup Defaults”を選択してください。お使いのシステムコンポーネント(CPU、DRAM、ハードディスク・ドライブなど)がターゲット設定をサポートしているときに限り、“Load Turbo Defaults”を選択してください。詳細は、ユーザーズガイドの“AWARD BIOS”節を参照してください。

WIN'95で“?”マークをなくすには

Intel社は、“ACPI”、“USB”および“Ultra DMA/33”の最新機能付き430TX/440LX/440BXチップセットを開発しました。これらのデバイスは新しく、Windows 95は1995年8月にリリースされたときにこれらをサポートするようにデザインされていません。AOpenソフトウェアチームは、数週間を費やしてAOchip.exeユーティリティを開発しました。このユーティリティは、添付DCまたはwebサイトにあります。ユーザフレンドリーなこのユーティリティは、AOpen製品だけでなく、どのTX、LXまたはBXチップセットを使ったマザーボードでも使用することができます。aochip.exeを実行して、このユーティリティを実行してください。

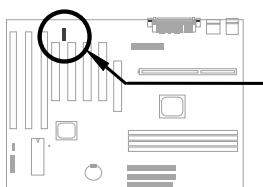


警告：このドライバをインストールすると、ハードディスクへのサスペンドに失敗することがあります。

CPU熱保護

バスマスタIDEモードをサポートするには、バスマスタIDEドライバおよびバスマスタIDEハードディスク・ドライバが必要です。このドライバは、添付DCまたはwebサイトにあります。このドライバをインストールするには、setup.exeを直接実行してください。

PCIサウンドカードコネクタ



Creative互換PCIサウンドカードをサポートするSB-LINKコネクタを装備しています。Creative互換PCIサウンドカードを取り付けたら、DOS環境での互換性のため、カードをこのコネクタにリンクする必要があります。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ

ATX電源ON/OFFを使って、システムの電源を完全にOFFにして(従来のサスペンドモードは電源装置を完全にはOFFにしません)、留守電またはファックスの送受信などの電話呼び出しに自動的に応答することができます。最も重要な改善は、外部ボックスモデムおよび内部モデムカードの両方がモデムウェイクアップをサポートすることにあります。AX6BC PlusおよびMP56内部モデムカードは、モデムカードが電源なしでも正常に機能するようにする特殊回路を使用しています。モデムウェイクアップについての詳細は、ユーザーズガイドを参照してください。

クイックインストールガイド

ハードディスクのサスペンド機能

オプション 1: /file スイッチを使用(FAT16ファイルシステム応用):

以下のコマンドを使い、ハードディスクへ一時停止する時に、システム状況とメモリイメージを保存しますので、ハードディスクの中のルートディレクトリに隠しファイルを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /file
```

隠しファイルを作成するために十分なHDDスペースがあることを確認して下さい。システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBの場合、少なくとも36MB(32MB+4MB)の連続ハードディスクスペースが必要となります。AOZVHDDがHDDスペースの作成に失敗した場合、MS-DOSやWin95と共に提供されている"DEFRAG"ユーティリティ、または"Disk Defragmenter"を使い、HDDスペースを調整して下さい。

オプション2: /partition スイッチを使用(FAT16/FAT32ファイルシステム応用):

ハードドライブへ一時停止のために、別のパーティションを作成するには、使用可能なパーティションが必要です。メモリ拡張のために十分なパーティションスペースを残しておいて下さい。例えば、システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBで、今後システムメモリを64MBまでアップグレードしたい場合、ディスクユーティリティ(fdisk等)を使い、68MB(64MB+4MB)のスペースを確保しておいて下さい。次に、以下のコマンドを使って一時停止パーティションを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /partition
```

余分なパーティションスペースがなく、データを消去したくない場合は、パーティション方法を使用しないでください。詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください。

システムBIOSの更新方法

BIOSをアップグレードするには、以下の手順で行って下さい。

1. AOpenのウェブサイトから新しいBIOSバイナリファイルを手入手して下さい。例えば、AX6BC110.BIN等です。
2. メモリハンドラー(EMM386等)やデバイスドライバをロードせずに、フロッピーディスクからシステムを起動させて下さい。
3. A:> AOFLASH AX6BC110.BINを実行して下さい。
4. 新しいBIOSコードを呼び出すと、ユーティリティは本来のBIOSコードをHDDかフロッピーに保存するように警告します。"Y"を押し、"BIOS.OLD"として保存して下さい。
5. 古いBIOSを保存したら、"Y"を押し、"BIOS.OLD"を置き換えて下さい。
6. "FLASHING"の際には、コンピュータの電源を切らないで下さい。
7. "FLASHING"の後に電源を切り、コンピュータを再起動させて下さい。
8. POSTの際に"DEL"キーを押して、BIOSセットアップにアクセスして下さい。
9. "BIOS SETUP DEFAULT"を呼び出し、その他の項目を同じように設定し直して下さい。
10. 変更を保存し、BIOSセットアップ終了して下さい。

詳しくは、ユーザーズマニュアルの"BIOSフラッシュユーティリティ"に関する項目をご覧ください。